

憲法記念日を「改憲」許さずの心で、楽しく集いましょう！！

=ひとりでも多くの人を誘い、最後まで賛同の輪を拡げましょう=

<第4回理事会報告>

前回同様に今回の理事会も風雨強まるなか、29名の参加で開催されました。中心議題は、目前にせまる憲法フェスティバルと1ヶ月後の県大会についてでした。以下、要点のみ報告します。

I 市民に大歓迎の5・3憲法フェスティバル

1. 4月19日、100枚のポスターを貼ってもらうために6組が水戸商店街中心に入りました。断られたのは3枚だけであとは全部こころよく貼らせて頂きました。喫茶店やとこやさんは「お客さんに見てもらってから室内に貼ってやるよ」「こんないい事やるのは大賛成だ。どこでもいいから貼っていきな」等々。憲法を大切に作る運動が広く市民に理解され支持されている事を肌で感じた1日でした。

2. 「実行委員会」は5・3に向けて準備万端ことを進めています。4月19日の「実行委員会」では当日の参加者と団体・個人の賛同がまだ4分の1程度で開催成功のために各団体に一層の努力が求められています。平和委員会は4月4日の常任理事会で平和委員会全体として当日参加者313名、団体賛同30口、個人賛同300口を実現目標として、各平和委員会に割り振り要請しました。(かわら版4月5日号に一覧表掲載)

3. 理事会に出席された各平和委員会は3つの目標に対して、「すでに実現した」「取り組み中であるが実現出来る」などの発言で目標以上の努力を申し合わせました。欠席の平和委員会は事務局が連絡を取り確認し全体目標を実現するためにみんなで奮闘する事を確認しました。特に団体・個人の賛同名簿は至急事務局までFAXしてください。



II 09年度県大会の準備すすむ

1. 県大会の日程など

(1) 県大会日時場所：5月30日(土)

水戸市 茨城県総合福祉会館大研修室

午前9時30分受付開始。10時開会。午後4時終了

(2) 各平和委員会は大会代議を決めてください。代員は以下のとおり(従来に同じ)

会員数	代議員数	会員数	代議員数
1~9名	1名	30~49名	3名
10~29名	2名	50名以上	4名

(3) 大会代議員には代表理事・常任理事・事務局長は不可。理事及び会計監査は可。

(4) 大会議案には各平和委員会の08年度の活動報告だけでなく09年度の取り組みについても載せたいので5月半ばまでに事務局にFAX下さい。

2. 県大会までに各平和委員会でひとりの仲間づくりを実現しよう!

昨年12月から「かわら版」で新入会者を紹介しはじめてから各平和委員会から毎月5~6名の入会者あります。理事会では地道な仲間づくりを持続化していく事の大切さを確認するとともに県大会までに各平和委員会が最低一人以上の仲間を増やす事を申し合わせました。ご奮闘を要請します。

3. 決算・予算及び次期役員については今回検討した案を大会に提案します。

4. 09年度の運動方針の基本

(1) 地域での本格的な共同行動の構築：01年から地域活動に軸足を置いてきたが、これからは他団体との地域共同行動に力を入れ、各種つどいや自治体要請行動などを行っていく。

(2) 県段階の共同として、憲法フェスティバルや秋の市民集会を発展させていく。

(3) 組織の充実と強化に取り組む。

5. 主な具体的な取り組み

(1) 春の取り組み：憲法フェスティバルもっと県民にアピールしていくために、4月を「憲法月間」に設定し5・3を迎える。

(2) 夏の取り組み：8月の戦争と平和を考える特別旬間をいっそう各地域で充実させ、侵略戦争を考え、学ぶ。2度と原爆を使わせない事をアピールしていく。また、平和行進・原水爆禁止世界大会に積極的に取り組み。

(3) 秋の取り組み：全県一斉宣伝行動。日米共同訓練・安保等を中心とした「秋の市民集会」。意見広告の取り組み等を県民に訴えていく。

(4) 冬の取り組み：百里初午祭り。1年の活動のまとめと次の取り組みについての活動交流集会を実施する。

(5) 役に立つ「かわら版」の編集、学習運動の前進、県と各平和委員会の財政確立、仲間づくりなどみんなで知恵を出し合い、創意と工夫をこらしていく。

6. 平和情勢については大会議案に掲載します。

7. 運動方針については理事会の討議をもとに5月16日の常任理事会で整理し文章化して県大会に提案します。

平和かわら版

No.531
月3回発行
2009.4.25

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



食糧・農業・平和を考える出会いのイベント

第16回 いざ、田植え

と き 5月17日(日)10時～ 雨天決行
ところ 小美玉市(旧小川町)・百里平和農園
費用 年齢×100円(上限1000円)
道具 食器、汚れてもいい服装と靴
内容 作業前に、お米の講習会。
みんなで語る交流会。クイズ大会。 etc



戦闘機の発進音を聞いて、 びっくりしました

守谷平和の会 丸町 芳夫

4月21日、守谷平和の会が百里基地の現地検証を行うということで、2月の初午祭りに参加できなかったため今回は参加させていただきました。40年ぐら前に東京平和委員会の百里基地闘争支援に行ったことがありますが、記憶にあった所とはあまりにも違っていました。40年の間に周りは金網の堀で囲まれているとは想像できませんでした。

今回は平和公園の櫓の上で、川井さんの身体の変化もありましたが、その闘いも「自分の土地は戦争には使わせない」という信念と一緒に、リハビリでほぼ克服して再び闘いを継続できたことに誇りを持っているように見えました。真っ黒に日焼けして深い皺が刻まれた顔には、「憲法を守る」という明るい眼が光っていました。色々な誘惑や脅かしや仲間との別れを撥ね退け、誘導路をくの字に曲げさせた不屈の闘志が光っているように見えました。

それにつけても、戦闘機の発進時の爆音はものすごいものです。特に、2機一緒に発進するときの爆音は鼓膜に突き刺さるようなものでした。こんな状態で周りの住民は生活することができるのだろうか。これにさらに民間航空が参入すると、一体どうなるのだろうか、安全は大丈夫なのだろうか、と心配になりました。

茨城県に「平和憲法を守る」ことにこだわって生きて闘っている不屈の農民がいることを知ることができた一日でした。守谷にもこの灯を灯していかなければと思いつつ帰ってきました。ありがとうございました。

オバマ 4.5 プラハ演説 核廃絶運動への大きな弾みに

くさざき平和の会 大滝 修

北朝鮮の「ミサイル発射」がマスメディアあげて大きく報道される中、四月に入りアメリカ・オバマ大統領の二つの発言、行動に注目している。

ひとつはNATO首脳会議で訪れたチェコ・プラハで4月5日、核兵器廃絶への強い決意を示したプラハ演説である。オバマは「米国は核兵器のない世界という平和と安全を追求することを約束する」「米国は核保有国として、核兵器を使用した唯一の核保有国として行動すべき道義的責任があり、その先頭に立つ。」と聴衆を前に明言したと報道されている。「核兵器のない世界を目指す」とは大統領選にあたってのオバマの公約であったが、これを全世界に向かって発信したことはブッシュの核先制攻撃論による軍縮敵視政策からの転換としての大きな意義を持つと断言していいのではないかと。

もうひとつは一日、ロンドンでのロシア・メドベージェフ大統領との会談で核軍縮に一致して取り組むことを確認、同意したという共同声明発表である。いま世界では2万6千発もの使用可能な核兵器が存在し、米口の二カ国でその90%を占める。いったん事が起これば地球を数回にわたって破滅させることができる事態だ。ここ数年来、アメリカ政府の高官を勤めたキッシンジャー氏等からも数度にわたり

核廃絶の提言が行われ、また昨年のも原水禁世界大会にはNPT再検討会議の議長セルジオ氏が出席・発言するなど運動はかつてない広がりとなり盛り上がりを見せてきた。

アメリカ初の黒人大統領となったオバマは、二つの戦争(アフガン・イラク)と金融・自動車資本の破綻という経済危機に直面、これまでの内外政策の全面的な見直しが行われている。こうした折の発言として注目しているが、要はいかに実行させるかであり、軍需産業の巻き返しも考えられることから、当面する2010年のNPT再検討会議へ向け核廃絶運動を大きく盛り上げていくチャンスではないかと考えている。

いま、私たちに必要なこと

北茨城平和の会 藤田 稜威雄

今から約二か月前に北朝鮮がミサイルの発射準備をしているらしいという情報もたらされてから発射されるまで、日本国内にはただならぬ緊張感が漂っていた気がします。

ミサイル発射後、日本政府は強い抗議の意を表明し、アメリカに国連安保理での非難決議を引き出すように協力を求めていましたが、それに対して中国、ロシア両理事国が難色を示し、結局議長声明にとどまりましたが、私はそれでよかったと思っています。逆に決議案が採択されていたら、北朝鮮は6カ国協議どころか、国連を脱退することもいとわない今以上に強硬な態度に出ていると思います。陸続きの中国、ロシア両国はそんな北朝鮮のあやうさをどの国よりも強く感じていたのではないのでしょうか。

“今の北朝鮮は太平洋戦争前の日本に似ているような気がします。戦争前、臣民のほとんどが天皇が必ず勝利をもたらしてくれると信じさせられていた…その「天皇」が北朝鮮の人民にとっては「偉大なる金正日同志」に置き換えられるでしょう。ただ、戦前の日本と違うことは北朝鮮は核を持っていることです。北朝鮮を孤立させ追い詰めることは私たちにとっては核の脅威を増大化させる事にしかありません。そういった中で私たちはもっと冷静に状況を見極めていくべきではないのでしょうか。